




●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

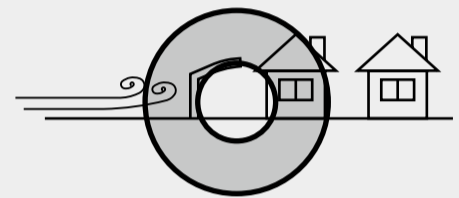
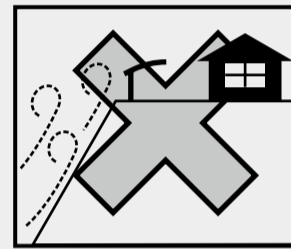
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
- ・カーブポートシグマⅡV（一般地域用900タイプ）は積雪（新雪）30cm以下の地域用です。
- ・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
- ・風当たりの強い場所に設置する場合は、風にあおられないよう前枠を建物側に向けて設置してください。
（丘陵地・田畑・野原・海岸沿い、又は風を妨げる物のない平地に隣接した場所など）



●部材の固定

- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

●基礎

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
- ・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

●施工

- ・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
- ・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリング処理

- ・指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

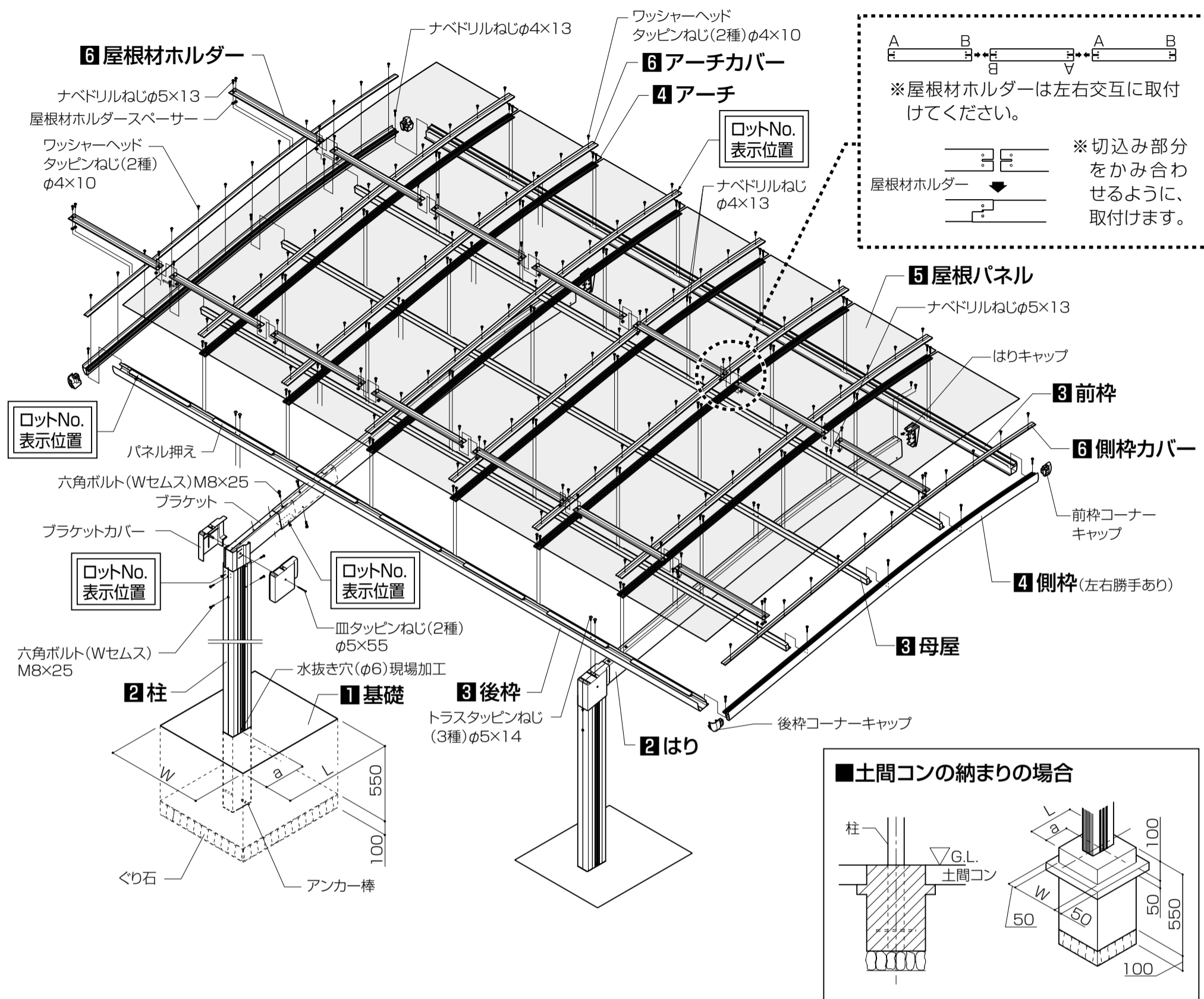
●絶縁処理

- ・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ型材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■取付け上のおお願い

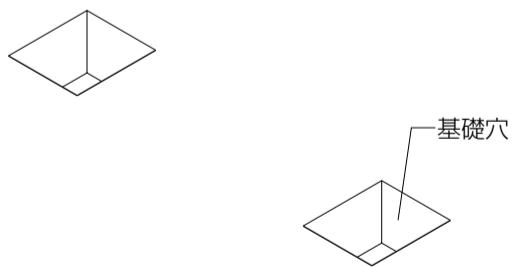
- 水平・垂直は正確に出してください。取付けに支障がでるおそれがあります。
- 屋根の上にものをのせないでください。
- 取付けは、専門業者の方が行ってください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。

■構造説明図



■取付け順序(基本タイプ)

1 基礎の施工

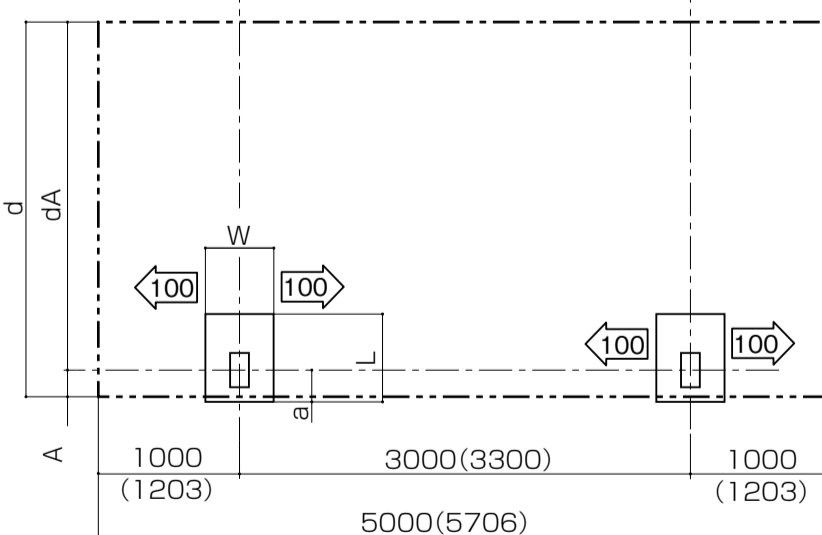


■取付け詳細(基本タイプ)

1 基礎の施工

●柱の埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。

■墨出し位置



※()寸法は57サイズを示します。
※二点鎖線は屋根投影サイズを示します。
※ 100 は柱移動範囲を示します。

■墨出し位置

サイズ呼称	d	dA	A
24	2401	2317.5	83.5
27	2701	2617.5	83.5
30	3000	2915	85

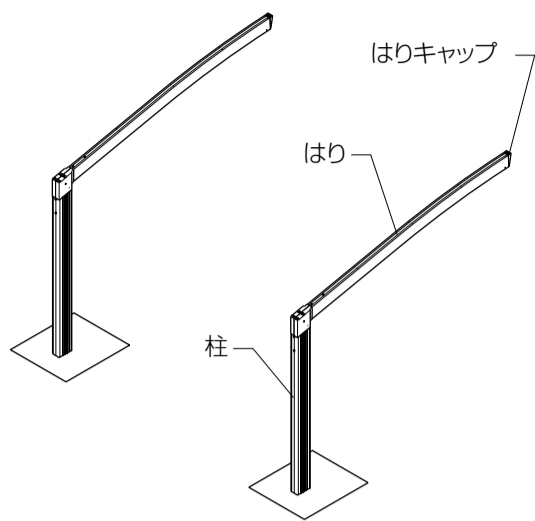
単位mm

■基礎寸法

サイズ呼称	土間コンなし			土間コンあり		
	W	L	a	W	L	a
24	600	800	300	300	500	250
27	600	800	300	300	500	250
30	700	900	300	400	700	300

単位mm

2 柱とはりの取付け



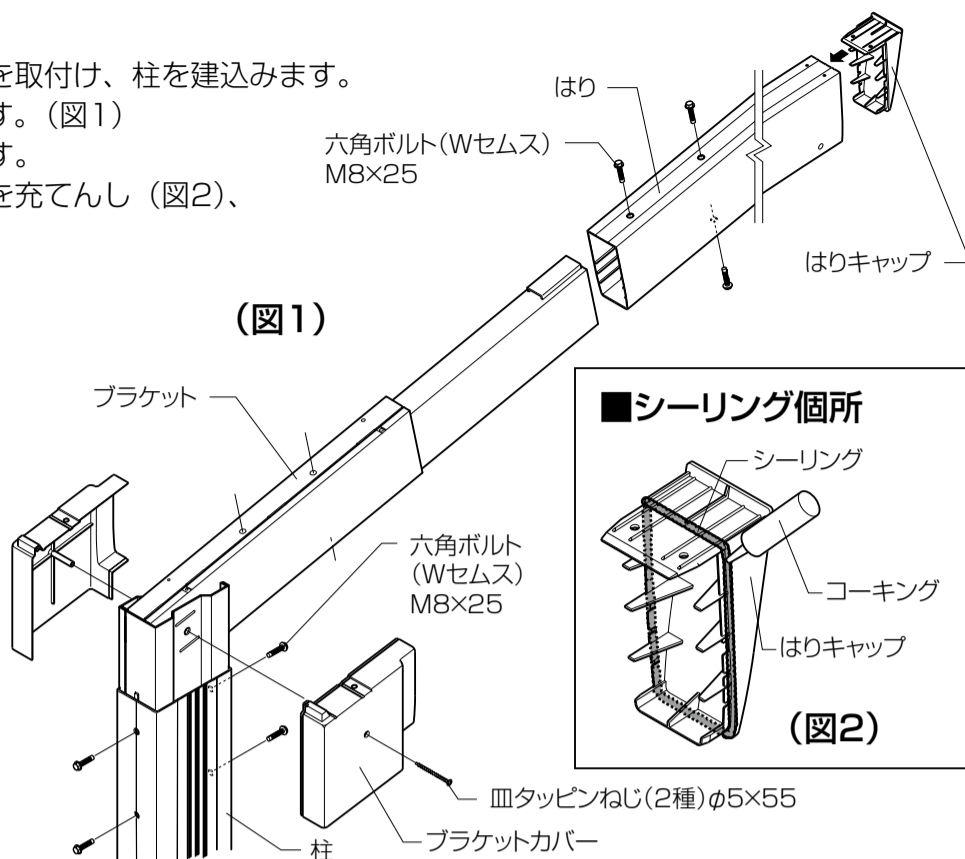
2 柱とはりの取付け

- ①柱にブラケット・アンカー棒を取付け、柱を建込みます。
- ②はりをブラケットに取付けます。(図1)
- ③ブラケットカバーを取付けます。
- ④はりキャップにコーキング材を充てんし(図2)、はりに取付けます。

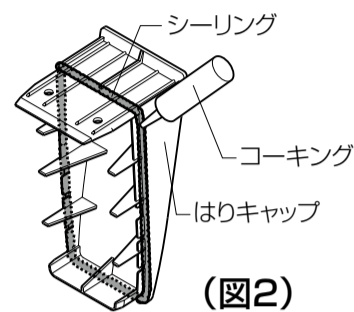
※はりキャップは、必ず前枠より先に取付けてください。後からでは取付けられません。

※ブラケットカバーは必ず後枠より先に取付けてください。後からでは取付けられません。

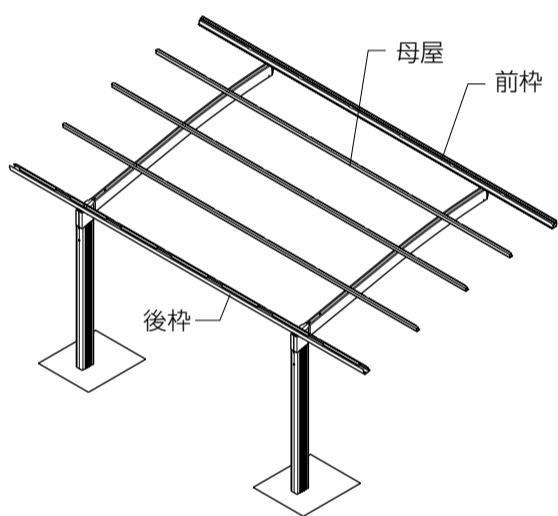
※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱に縦どいセットを取付けると、表示が見えなくなります。縦どいセットの取付けない側に表示ラベルを向けてください。



■シーリング箇所



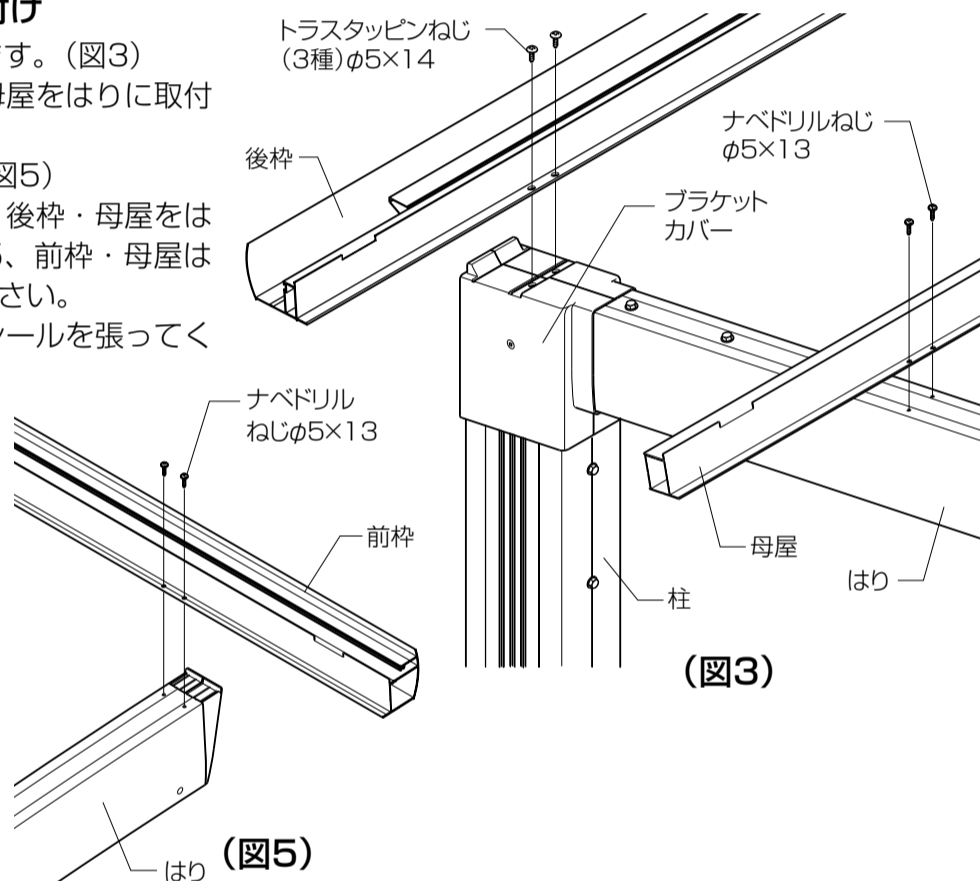
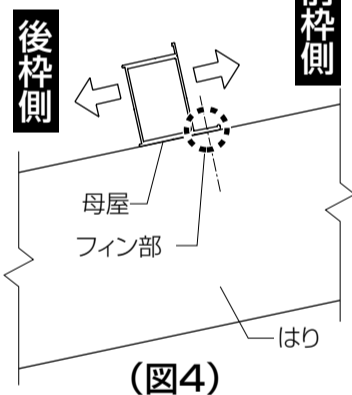
3 前枠・母屋・後枠の取付け



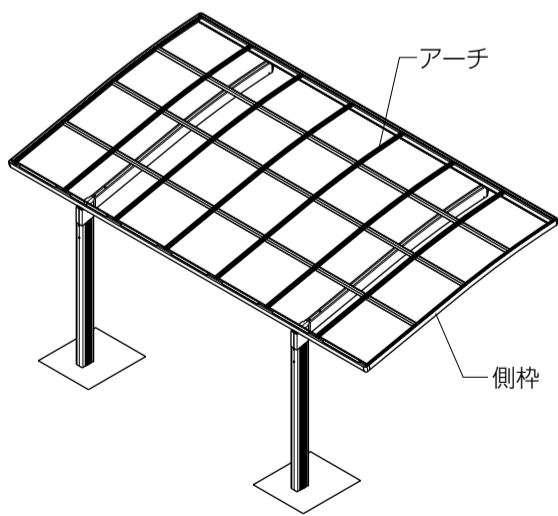
3 前枠・母屋・後枠の取付け

- ①後枠をブラケットに取付けます。(図3)
 - ②前枠側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。(図4)
 - ③前枠をはりに取付けます。(図5)
- ※柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋をはりに合わせて、後枠はφ5.5、前枠・母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
- ※既存の加工穴には穴ふさぎシールを張ってください。

※前枠側に必ずフィン部を向けてください。



4 側枠・アーチの取付け

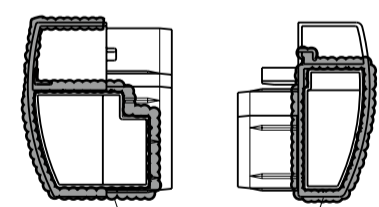


4 側枠・アーチの取付け

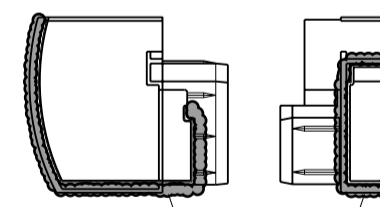
- ①前・後枠コーナーキャップにコーキング材を充てんし(図6)、側枠に取付けます。
- ※側枠には左右があります。切欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図7)
- ②前・後枠・母屋に側枠を取付けます。
- ③アーチの前後を確認し(図7)、取付けます。(図8)
- ④屋根枠周りの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをします。

■シーリング箇所

●前枠コーナーキャップ



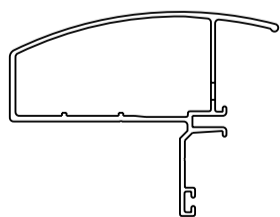
●後枠コーナーキャップ



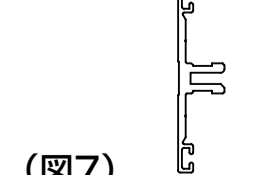
(図6)

お願い
※前・後枠、母屋には加工穴があいていません。側枠・アーチ側の穴に合わせ、ナベドリルねじφ4×13で止めてください。

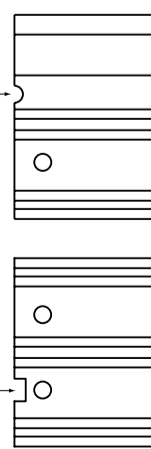
●側枠



●アーチ

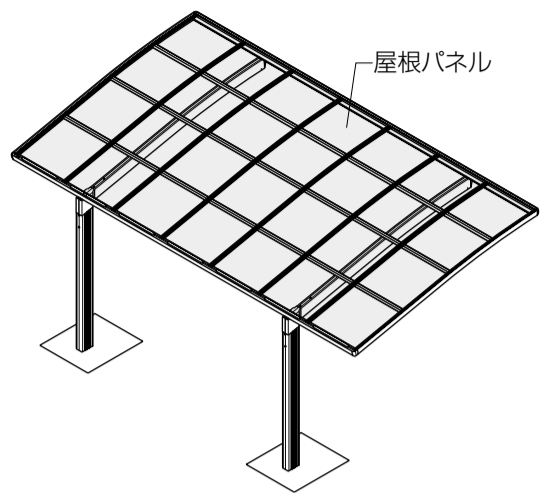


(図7)



(図8)

5 屋根パネルの取付け



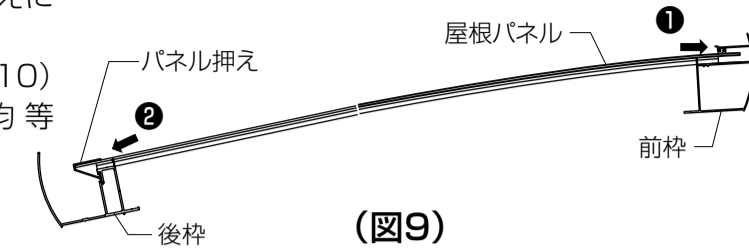
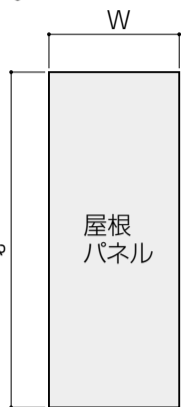
5 屋根パネルの取付け

- 屋根パネルを前枠カバーに差込み、パネル押えに差込んでください。(図9)
- ※ 屋根パネルは後枠側に突当ててください。(図10)
- ※ アーチ部のみ込み寸法は、左右均等(16.5mm)にしてください。

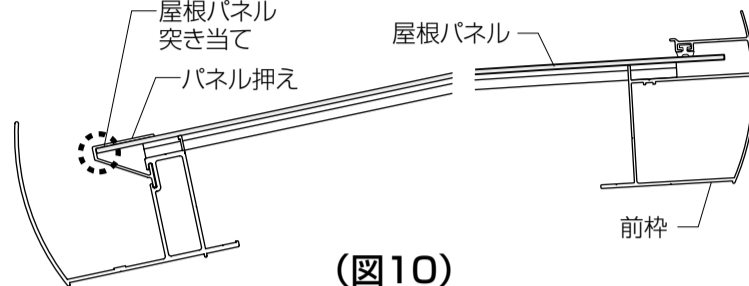
■ 屋根パネル寸法表

サイズ呼称	ℓ	W
24	2388	689
27	2694	
30	3018	

単位mm

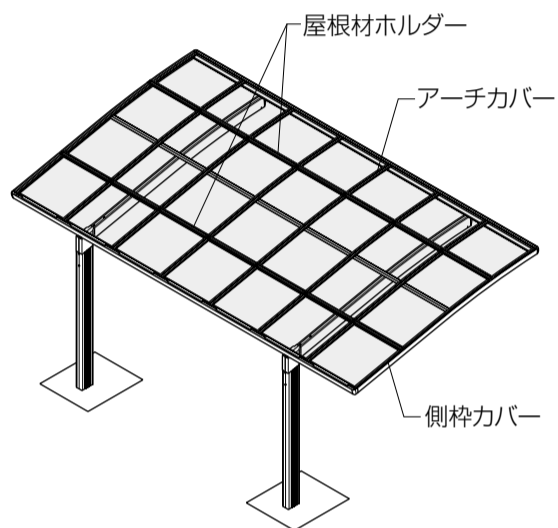


(図9)



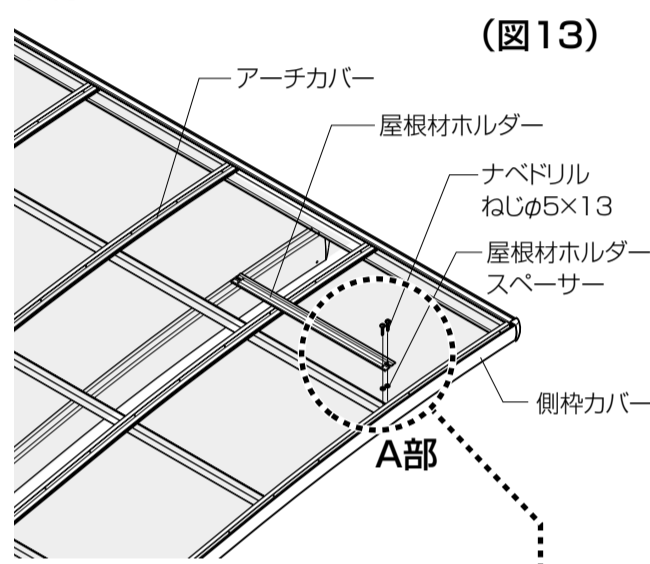
(図10)

6 アーチカバー・側枠カバー・屋根材ホルダーの取付け

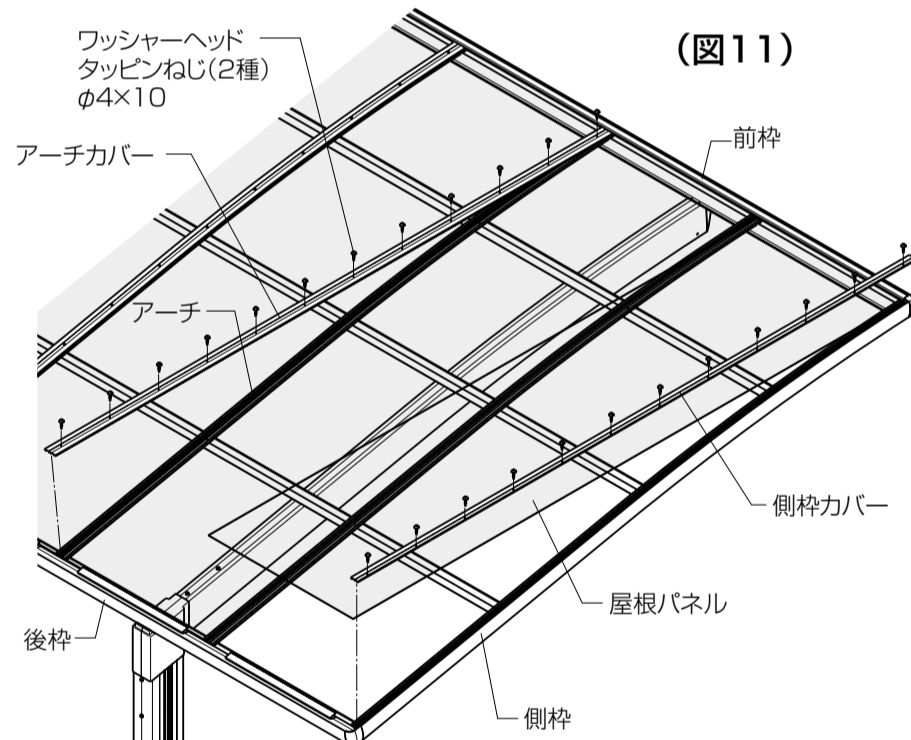


6 アーチカバー・側枠カバー・屋根材ホルダーの取付け

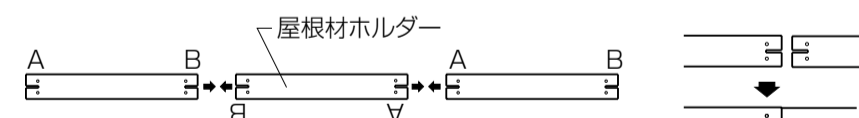
- ① アーチカバー・側枠カバーを前枠に突当てます。
- ② 前枠側からアーチにねじ止めします。(図11)
- ※ アーチとかみ合っていることを確認してください。
- ③ 側枠カバー、アーチカバーと前枠との間にコーキング材を充てんします。(図12)
- ④ 屋根材ホルダーと屋根材ホルダースペースを、後枠側、前枠側から数えてそれぞれ1本目の母屋の位置にねじ止めします。(図13)
- ※ 固定済みのカバー側のねじのみ固定し、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定します。
- ※ 2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切込み部分をかみ合わせるように取付けます。(図14・図15)



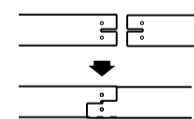
(図13)



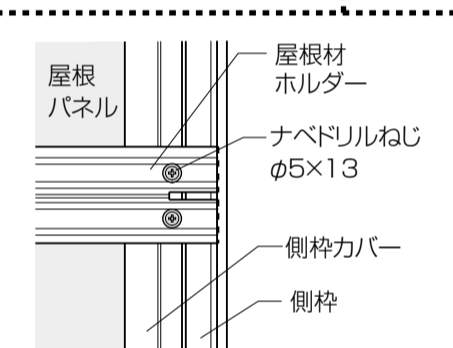
(図11)



(図14)

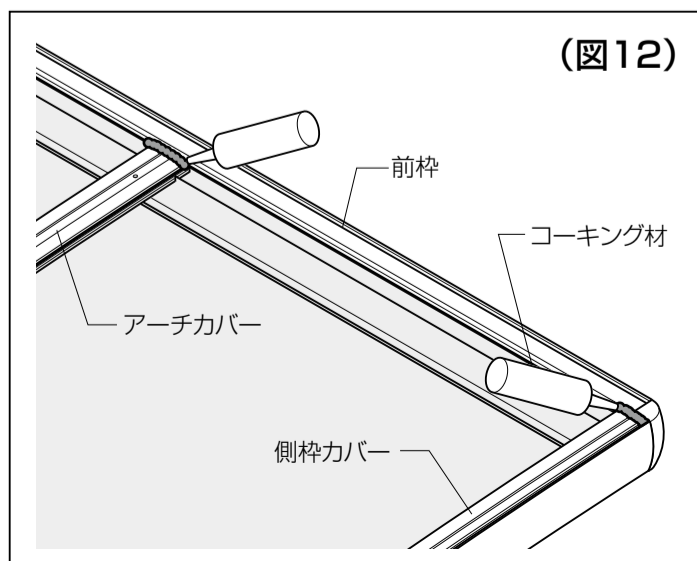
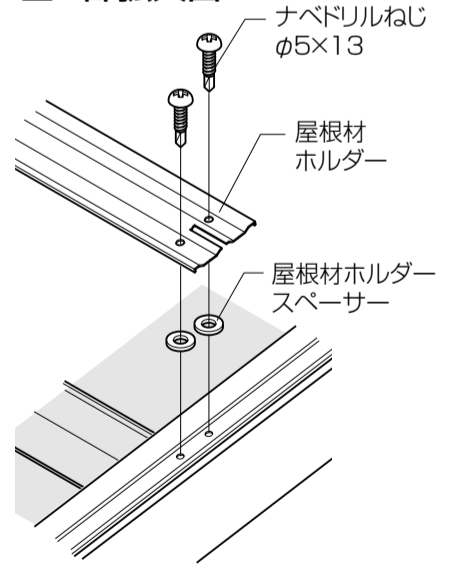


(図15)

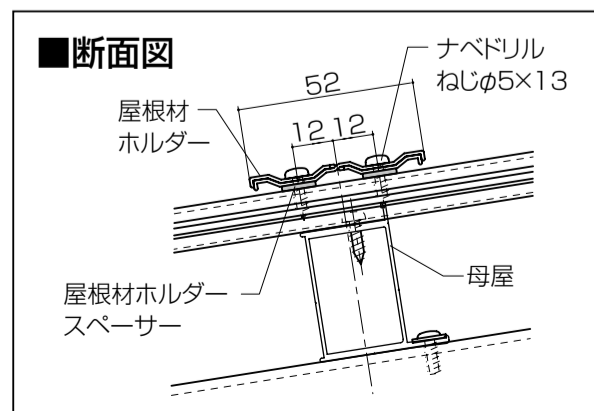


※ アーチカバーには屋根材ホルダー取付け用の穴はあいてません。

■ A部拡大図

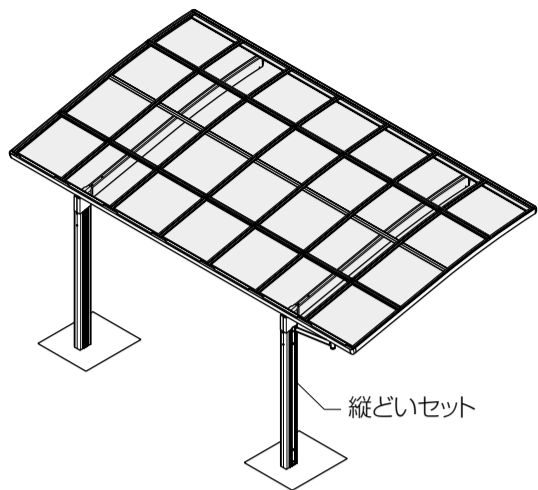


(図12)



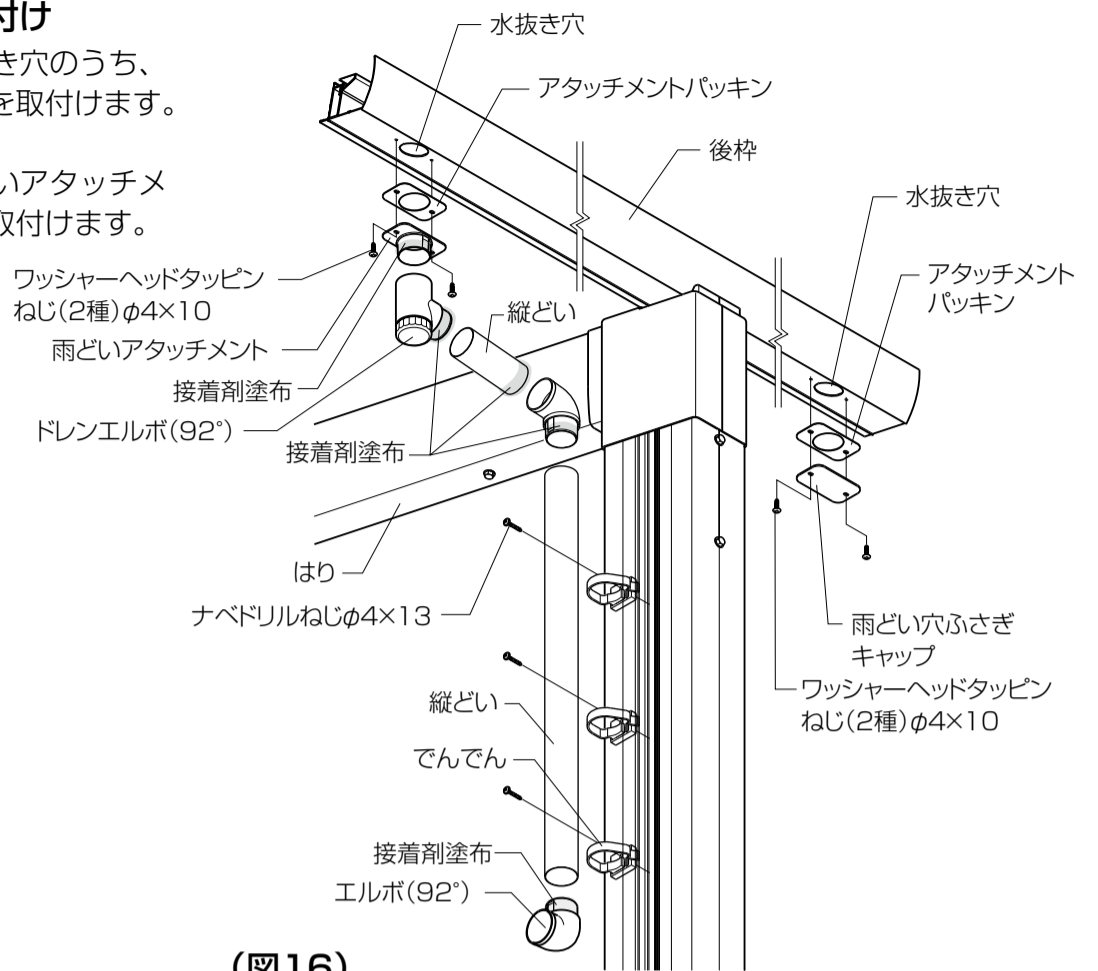
■ 断面図

7 縦どいセットの取付け



7 縦どいセットの取付け

- ①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方に縦どいセットを取付けます。(図16)
- ②もう一方の穴に雨どいアタッチメント(穴ふさぎ)を取付けます。



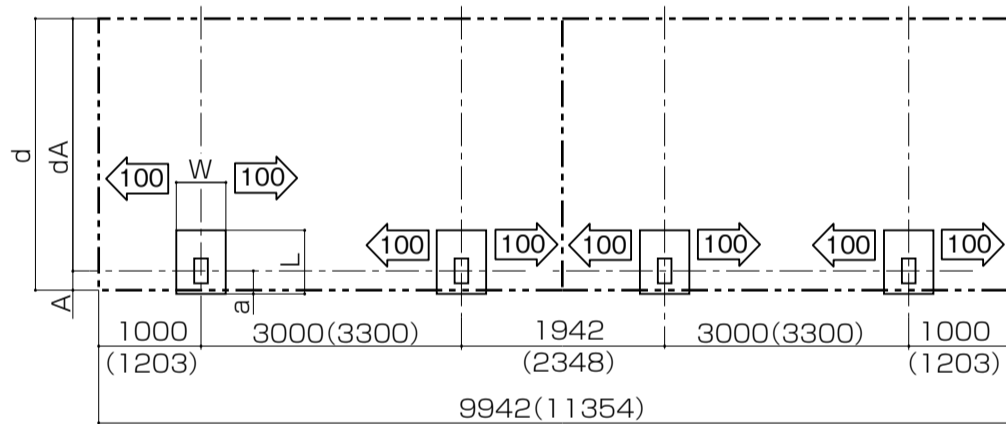
(図16)

■縦連棟の取付け

1 基礎の施工

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘込みます。
- ※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

■墨だし位置



■墨出し位置

サイズ呼称	d	dA	A
24	2401	2317.5	83.5
27	2701	2617.5	83.5
30	3000	2915	85

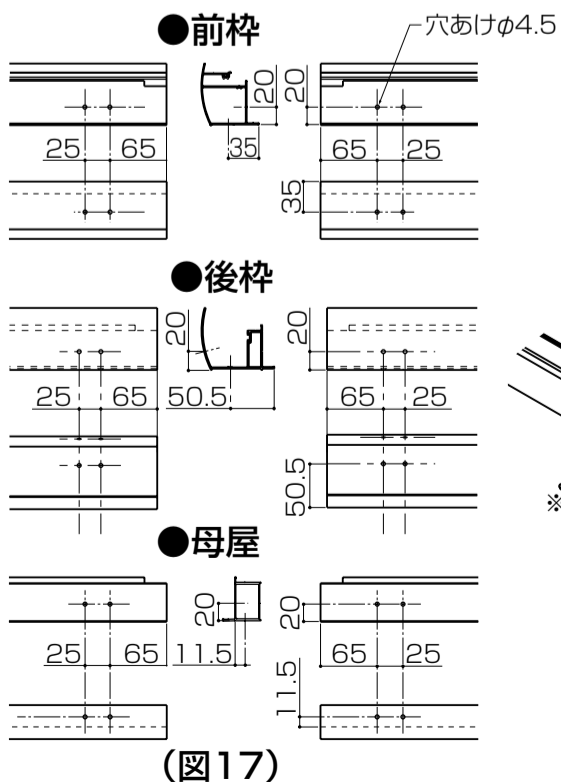
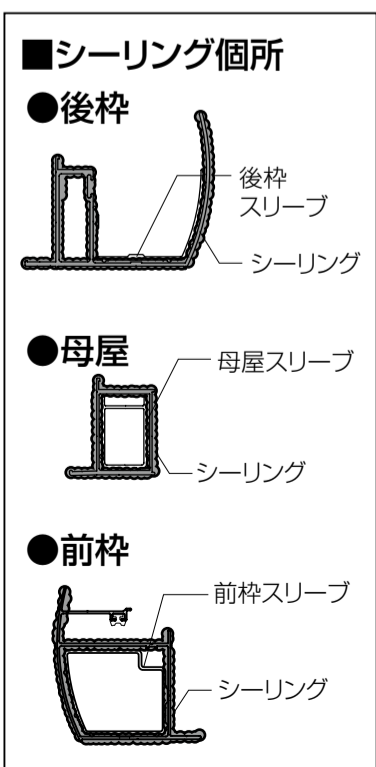
■基礎寸法

サイズ呼称	土間コンなし			土間コンあり		
	W	L	a	W	L	a
24	600	800	300	300	500	250
27	600	800	300	300	500	250
30	700	900	300	400	700	300

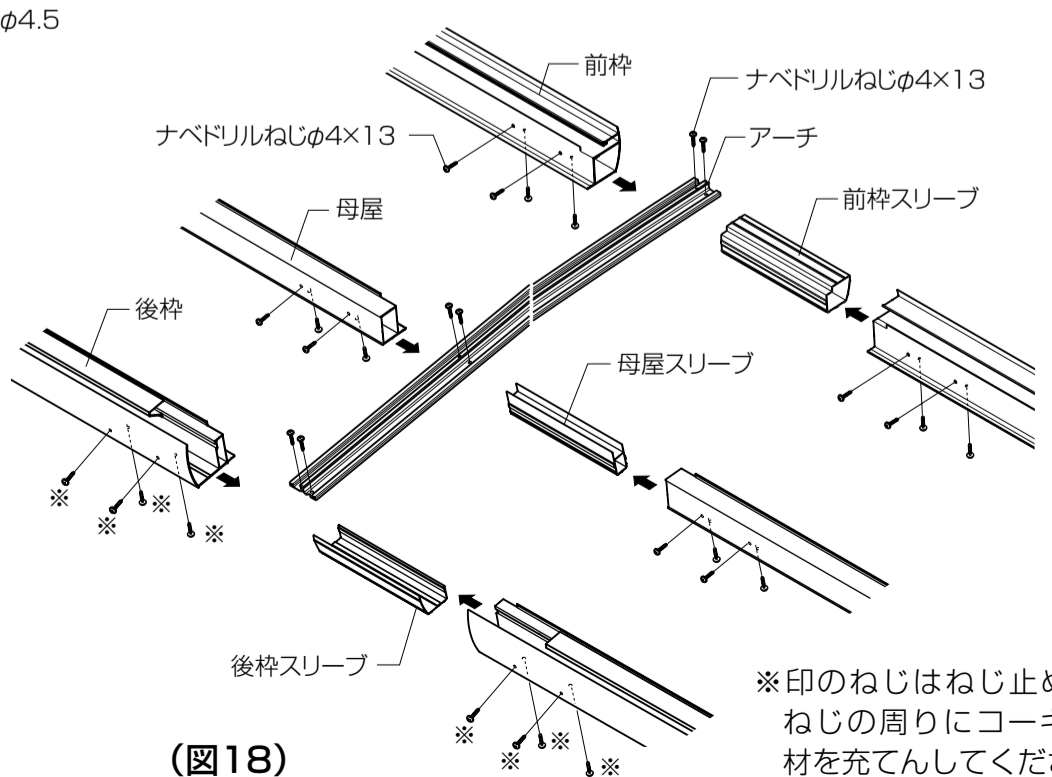
- ※()寸法は57サイズを示します。
- ※二点鎖線は屋根投影サイズを示します。
- ※ $\overleftrightarrow{100}$ は柱移動範囲を示します。

2 本体の組立て

- ①組立て前に、前枠・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。(図17)
 - ②連棟部分を組立てます。(図18)
- ※連棟部分にコーキング材を充てんし、連棟スリーブ・前枠・母屋・後枠をそれぞれ接続します。
 - ※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。



(図17)

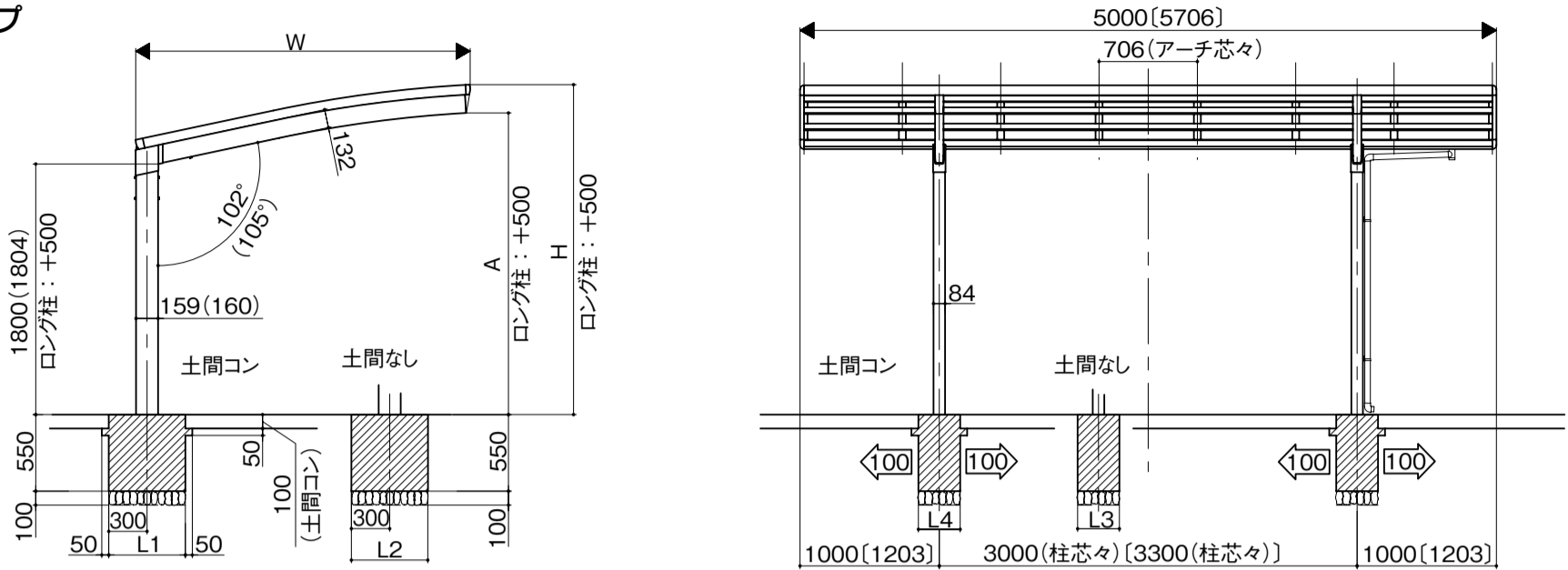


(図18)

※印のねじはねじ止め後、ねじの周りにコーキング材を充てんしてください。

■納まり図

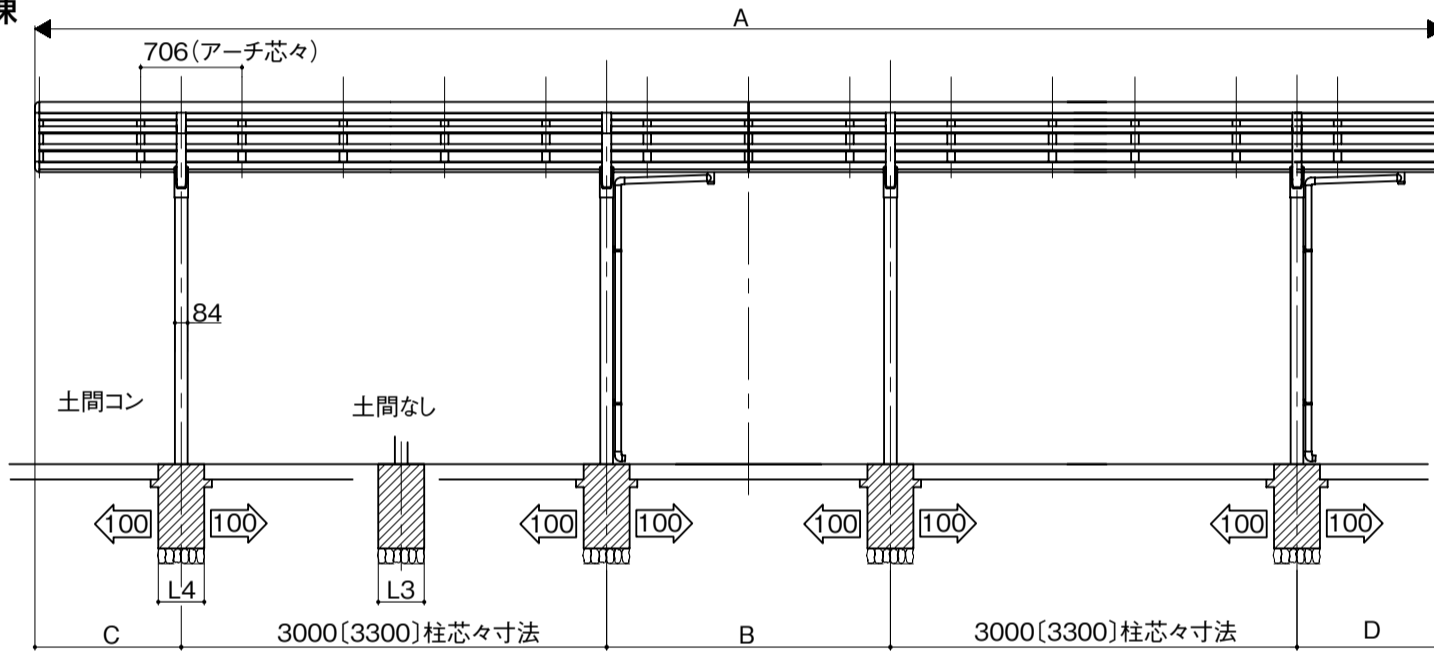
●基本タイプ



	W	H	A	L1	L2	L3	L4
24型	2401	2370	2167	500	800	600	300
27型	2701	2434	2231	500	800	600	300
30型	3000	2581	2377	700	900	700	400

※ ()内は30型を示します。
 ※ []内は57サイズを示します。

●縦連棟

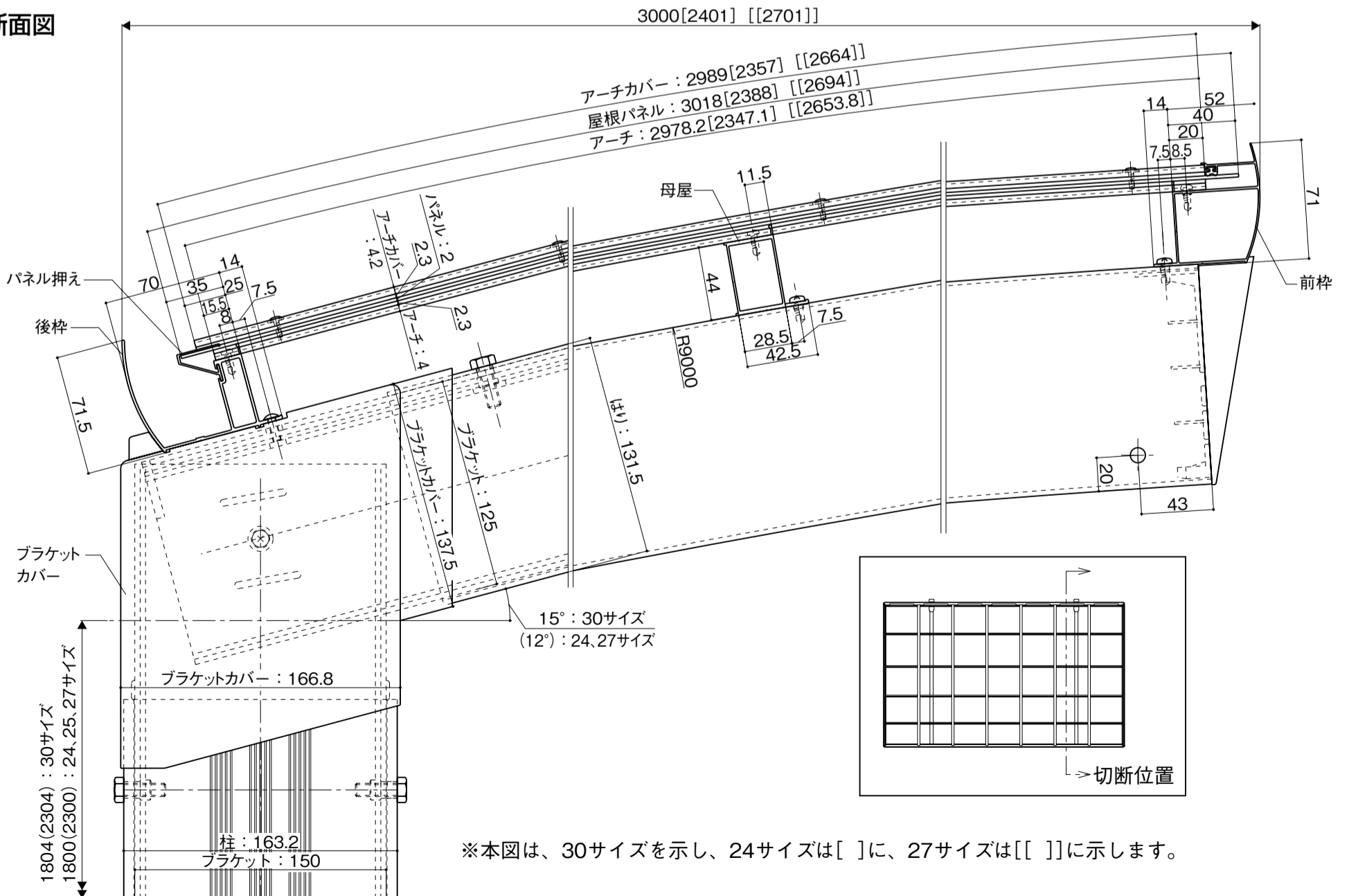


	L3	L4
24型	600	300
27型	600	300
30型	700	400

	A	B	C	D
50型・50型	9942	1942	1000	1000
50型・57型	10648	2145	1000	1203
57型・57型	11354	2348	1203	1203

※57サイズは[]に示します。
 ※B寸法は連棟部を示します。

●断面図



※本図は、30サイズを示し、24サイズは[]に、27サイズは[[]]に示します。

■梱包明細書

●柱セット

名 称	員 数
柱	2
取扱い説明書	1

●はりセット

名 称	員 数
はり	2

●前枠・後枠セット

名 称	員 数	
	50用	57用
前枠	1	1
後枠	1	1
屋根材ホルダー	14	16
縦どい	1	1

●母屋セット

名 称	員 数	
	3本用	4本用
母屋	3	4

●幅セット

名 称	員 数			
	50用	57用	連棟50用	連棟57用
側枠	左右各1	左右各1	—	—
側枠カバー	2	2	—	—
アーチ	6	7	7	8
アーチカバー	6	7	7	8

●ブラケットセット

名 称	員 数
	2本入
ブラケット	2

●組立て部品セット

名 称	員 数	
	50用	57用
前枠コーナーキャップ	左右各1	左右各1
後枠コーナーキャップ	左右各1	左右各1
はりキャップ	2	2
ブラケットカバー	左右各2	左右各2
雨どいアタッチメント	1	1
穴ふさぎキャップ	1	1
アタッチメントパッキン	2	2
ドレンエルボφ40用	1	1
92°エルボφ40用	2	2
雨どいでんでん	3	3
接着剤	1	1
アンカー棒(φ8×200)	2	2
プチルコーキング(100g)	1	1
穴隠しシール(φ15)	21(26)	21(26)
六角ボルト(Wセムス)M8×25	14	14
皿タッピンねじ(2種)φ5×55	2	2
トラスタッピンねじ(3種)φ5×14	4	4
ワッシャーヘッドタッピンねじ(2種)φ4×10(D=10)	109(150)	122(167)
ナベドリルねじφ4×13	80(95)	91(108)
ナベドリルねじφ5×13	52(57)	57(61)
屋根材ホルダースペーサー	32	36
取付け説明書	1	1

※()は30用を示す。

●不燃認定屋根材セット

名 称	員 数	
	1枚入	2枚入
パネル	1	2

●連棟部材セット

名 称	員 数	
	24・27用	30用
前枠スリーブ	1	1
後枠スリーブ	1	1
母屋スリーブ	3	4
ナベドリルねじφ4×13	46	54